

2021年7月30日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
 (コード番号 4722 東証第一部)
 問 合 せ 先 ファイナンシャル&アカウンティング
 グループ グループ長 岩田 真一
 (TEL (03) 5740 - 5724)

通期業績予想の修正、剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月28日に公表した2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせします。

また、2021年7月30日開催の取締役会において、2021年6月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を下記のとおり決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	47,500	7,150	4,800	108.50
今回修正予想(B)	48,500	8,000	5,500	124.28
増減額 (B-A)	1,000	850	700	—
増減率 (%)	2.1	11.9	14.6	—
(ご参考)前期連結実績 (2020年12月期)	44,311	5,235	3,795	85.49

修正の理由

第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)においては、企業のDXへの取り組みが更に加速し、当社グループのITコンサルティング&サービス事業では、デジタルコマースを加速するアパレル業界向けの基幹システム開発、製造業向けに業界初となるAI・IoT技術を活用したフルオートメーションシステムの開発、様々な業界の業務改善に対する実効

性の高いA I 技術の提供といった、多種多様なお客様からのD X案件の受注が堅調に推移しました。また、ビジネスイノベーション事業では、E Cサイト経由での購買、動画やオンラインを活用した娯楽やスポーツ観戦、ネットサービス上での教育・自己啓発など、個人においてもI Tの利用が更に浸透するとともに、新たなライフスタイルとしてのアウトドア需要が継続し、キャンプ用品等の好調な売上につながりました。この結果、両セグメントが牽引し、売上高・利益ともに、業績予想を上回りました。

業務改善や経営の変革、新たな働き方への対応といった、企業のD X投資やデジタル戦略の推進があらゆる業界に及ぶ中、I Tの果たすべき役割は一層拡大し、その内容が多様化・複雑化していることから、当社グループとしては、今後も企業のD X投資が堅調に続くものと考えております。

これらにより、直近の業績見直しを見直した結果、売上高・利益ともに前回予想よりも増加する見込みとなったことから、通期の売上高・利益について前回予想を修正いたします。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決定額 (2021年7月30日公表)	直近の配当予想 (2021年4月28日公表)	前期実績 (2020年12月期第2四半期)
基準日	2021年6月30日	同左	2020年6月30日
1株当たり配当金	23円	21円	20円
配当金の総額	1,018百万円	—	884百万円
効力発生日	2021年9月17日	—	2020年9月18日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2) 期末配当予想の修正

基準日	1株当たり配当		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2021年2月4日)	21円	21円	42円
今回修正予想	—	23円	46円
当期実績	23円	—	—
前期実績(2020年12月期)	20円	20円	40円

修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付け、持続的な成長を続けるための内部留保資金を確保しつつ、期間損益、キャッシュ・フローの状況等も総合的に勘案して配当を決定しております。また、配当性向の目安に関しては、連結業績における配当性向を35%以上とする方針としております。

今回の業績予想の修正を踏まえ、2021年2月4日に公表しました2021年12月期の期末配当

予想を上記のとおり修正（増配）いたします。

※ 上記の予想は、現時点で得られた入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 岩田真一

直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp